

政策推進課 小野主査の ふるさとグローバルプロデューサー研修報告 Vol.1 2016.7⇒2017.3

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222



研修先の石川理事(左)より説明を受ける小野主査。



梅酒まつりは4日間で約4千人が来場しました。



梅酒まつりでは表彰式も行われました。写真は明星代表理事(左)と受賞者。

本紙8月号でお知らせしたとおり、政策推進課の小野敏紀主査は、今年7月から来年3月まで、職員としてのキャリアアップのための「ふるさとグローバルプロデューサー」等育成支援事業(※)の研修に参加しています。

研修先は「一般社団法人梅酒研究会(代表理事明星智洋・東京都新宿区)」に決定し、日本の食文化として世界に誇れる梅酒の素晴らしさを国内外に広める活動について現場での実践経験を積むOJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)・職場実務による知識や技術の習得(研修)に入りました。

10月7日〜10日にかけて湯島天満宮(東京都文京区)にて開催された「全国梅酒まつりin東京2016」では、大規模イベントの運営や世界を視野に入れた販売促進について学び、10月中旬からは、茨城県ひたちなか市にて、理事の1人である石川誠氏のもとで酒類販売の研修を受けました。

来月号では11月に受講した梅酒製造の現場視察についてご報告します。

※中小企業庁の補助事業として、日本国内の地域産品を海外に売り込むプロデューサー育成を目指す事業

地域の力×民間企業×行政 を結集させ、
寄地区を愛犬との共生をキーワードとした「癒しの里」に!

「Yadoriki Healing Village 創生事業」 ～愛犬との共生が癒しと賑わいを創出する 里づくりプロジェクト～

予定している主な事業

(1) 寄地区の発展に実践的・主体的に関わる人財の育成

(2) 地域素材を活用した商品やドッググッズ、無添加ドッグフードの開発など

(3) ドッグラン及び周辺施設のリノベーションなど



町は、国の地方創生加速化交付金など約7700万円を活用し、地域住民・民間企業・行政が協働して、寄地区に「癒しの里」をつくり、経済の活性化と雇用の確保による人口の増加を目指す。

受託事業者は「ランドブレイン(株)横浜事務所」と「株足柄グリーンサービス」の連合体に決定!

「やどりき癒しの里」Yadoriki Healing Village 創生事業」に取り組んでいます(広報まつだ9月号参照)。

このたびは事業パートナーとなる民間企業が「ランドブレイン(株)横浜事務所(本社:東京都千代田区)」と「株足柄グリーンサービス(南足柄市)」の連合体に決定しましたのでお知らせします。

本事業は、寄地区に点在する「食」「モノ」「ヒト」「芸術」といった資源などを結びつけることで、寄附れあいドッグランなどの地域資源を効果的に活用し、寄地区の豊かな自然環境の中で、愛犬が自然を楽しみ、愛犬が心身を癒されることで、愛犬も幸せになれるようなオンリーワン産業を誕生させ、地域の賑わいの復活や新たなビジネスチャンスの構築、定住・移住化の促進を目指すものです。

みんなでつくりよう 自治基本条例!!

有害獣被害実態の調査

現在、町では、地域・民間・行政の力を結集し、本事業を効果的に推進していくため、協議会や部会を立ち上げ、地域の方や専門家の方々とともに事業の具体的な進め方や詳細部分を協議し、実行に移しているところです。

自治基本条例の理念について引き続き議論

「自治基本条例」については、本紙において順次掲載しているところですが、前回(本紙10月号・第3回審議会)掲載後の議論の状況をお知らせします。

第3回審議会以降、「自治基本条例の理念(方向性)」を形成する条例前文を主題として議論しています。

9月30日(金)開催の第4回松田町自治基本条例(仮称)審議会では、これまでの意見を時間軸(過去・現在・将来)で整理し、集約を行いました。

この中で「これまで」と「これから」のまちづくり

- 〈松田町民憲章：抜粋〉
1. まちの心が広がること
 1. 高い心もち
 1. 文化の香りあふれたまち
 1. 活力にあふれたまち
 1. 平和なまち
 1. 愛の輪が広がること

【問い合わせ】政策推進課 経営戦略係 ☎ (83) 1222

有害獣被害実態の調査

本事業では、「有害獣被害等実態調査委託」を実施します。

受託事業者は「(株)地域環境計画神奈川事務所」に決定しましたのでお知らせします。

近年、有害獣による農作物被害が発生し、農家の方々の生産意欲が減退している状況を打開するため、被害実態調査や捕獲活動を行います。その一環として

て農家の方々や猟友会を中心としたくくりわな講習会を開催します。

- 12月10日(土)：寄地区
- 12月11日(日)：松田地区

(詳細については回覧でお知らせします)

多くの方々への使用方を学んでいただき、各猟友会と連携しながら農作物被害を軽減させる体制づくりに取り組みます。

地域の持続的な発展や賑わいの創出には地元の方々のお力添えが欠かせないものとなりますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【問い合わせ】
観光経済課 観光推進係・商工農林係 ☎ (83) 12228

「松田町」と「乾杯!」

松田町長 本山博幸

寒風が身を切り、温かいモノがちよいと恋しくなる師走。

本年も、年の瀬までもう少しとなりました。町長の任を賜ったこの3年2か月の間、皆様の生の声を町政に活かして参りましたが、「まだまだ!」という叱咤激励に、今一層の「本気」が求められていると責任を痛感しています。

そのような中、関係各位のご協力によって、若い世帯の移住・定住者、子供の出生数、百歳を超える御長寿な高齢者が増えつつあり、町が元気になる兆しが見え始めました。また、喜ばしいことに、松田町3人目のふるさと大使に前横浜高校野球部監督の渡辺元智氏に就任頂き(本紙1面で紹介)、本年10月からは私が足柄上郡5町の町村会長に就任し、先輩首長のご指導を賜りながら務めています。来年の3月には松田町警察署が完成し、また、県道の拡張・改良工事も順調に進められており、今後は、かつて郡都と呼ばれていた松田町が中心となつて、足柄上地区全体を更に発展させていかななくてはならないと決意を新たにしました。

これから松田町が活気を取り戻していくステージには、さまざまな節目を迎えることとなります。そんな喜ばしい節目において、日本には古来から「乾杯」で祝いさらなる発展を呼び込む風習があります。この「乾杯」は、松田の清らかな水で作られた地酒、地元のみかんや野菜で作ったジュースなどで、盛大に「乾杯」しましょう! 祝いの席を華やかに、松田町の郷土愛を語り、「未来へツナグ」、新たな松田町物語の1ページを刻んでください。

町が一丸となり過去と未来を「ツナグ」事こそ、我々の責務として、今後も「松田創生」に取組んで参りますので、来年も、ご支援ご厚情を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

どうぞ健やかな新年をお迎えになられますよう重ねてお祈り申し上げます。乾杯!